

※ 目指すまちなみと基本方針

目指すまちなみとは、「裏小路に住む人にも、訪れる人にも歴史や文化にふれあえるまちにしたい」や、「四季折々の変化を楽しめるまちにしたい」などの思いが込められた、将来の裏小路のまちなみを示すものです。

また基本方針とは、「目指すまちなみ」を実現するため、住民等が主体となって行う“まちなみづくり”の取組の方向性を示すものです。

「(仮称)裏小路まちなみルール(素案)」には、基本方針に基づき、まちなみを主に構成する要素として、「建築物」、「工作物・緑化」、「屋外広告物」に、これらの要素に関わる「色彩(全体の色)」を加えた、4つの要素の項目毎にルールを定めています。

目指すまちなみ

『歴史・文化にふれあい、四季を楽しむまちなみ』

理想のまちなみ

裏小路らしい

基本方針

歴史的や文化的な雰囲気を感じられる岩槻藩遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かし、裏小路らしいまちなみを形成していきます。

まちなみの各要素の項目毎のルール

平成28年度の活動内容

今年度の裏小路まちなみづくり協議会は、「(仮称)裏小路まちなみルール(素案)」の取りまとめに向けて活動しました。協議会は、全7回開催し、まちなみづくりの先進事例である千葉県市川市の中山参道地区への現地視察会及び意見交換会、空間のイメージを可視化するバーチャルリアリティ(VR)を用いたまちなみルールの検討を行い、「(仮称)裏小路まちなみルール(素案)」の骨格を整えることができました。



意見交換会の様子
(第3回 協議会)



現況のまちなみ



板塀を用いたまちなみ
VRを用いたまちなみルールの検討(第5回 協議会)

今後のスケジュールについて

平成29年度活動内容(予定)

「(仮称)裏小路まちなみルール(素案)」について説明会等を行い、周知を行っていきます。

総会

- ・開催内容：事業報告及び決算
：平成29年度のスケジュール確認 等
- ・開催日時：5月中旬～下旬予定

会員は随時募集しております！
皆様のご入会をお待ちしております！

協議会会員数 26名
(H29.2.25 現在)



まちなみづくりに関心のある方へ

・事前の申込みは不要(自由参加)です。傍聴される方は当日、お気軽に会場までお越しください！

さいたま市ホームページに協議会の開催情報や協議会への入会申込書を掲載しています！

さいたま市のトップページ (<http://www.city.saitama.jp/index.html>) から

裏小路

裏小路まちなみづくり ニュース

発行：裏小路まちなみづくり協議会

第16号

問合せ先：さいたま市 都市局 まちづくり推進部 まちづくり総務課
TEL：048-829-1445 FAX：048-829-1976

発行月：平成29年3月

第7回 裏小路まちなみづくり協議会を2月25日に開催しました

本ニュースは、裏小路のまちなみづくりの活動を広くお知らせするもので、第16号となる今回は2月25日(土)に開催した「第7回 裏小路まちなみづくり協議会」について、御報告します。

(仮称)裏小路まちなみルール(素案)の取りまとめに向けて話し合いました！

- 裏小路の歴史的背景を踏まえ、「裏小路らしい」や「理想のまちなみ」を確認し、裏小路における目指すまちなみや基本方針を共有しました。
- 平成28年度最後の協議会となる今回は、過去の検討を踏まえて「(仮称)裏小路まちなみルール(素案)」の取りまとめに向けて話し合いました。



第7回協議会で確認したこと

岩槻駅周辺から見た裏小路

裏小路における目指すまちなみや基本方針を定めるに当たり、岩槻駅周辺の歴史や文化などから「裏小路らしい」や「理想のまちなみ」とは何かを共有しました。

岩槻駅周辺の歴史や文化って？

- ・江戸時代には、岩槻藩の城下町並びに日光御成道が整備され宿場町としても栄えていたこと。
- ・岩槻藩遷喬館や時の鐘などの歴史的や文化的な地域資源が残されていたこと。
- ・人形の町として全国的に有名であり、人形にちなんだ祭りやイベントが開催されていたこと。

裏小路らしいって？

- ・岩槻遷喬館や時の鐘などの地域資源を有し、歴史的や文化的な雰囲気を感じられること。
- ・武家屋敷が建ち並んでいた江戸時代の面影が残っていること。
- ・緑が豊かで、落ち着いたまちなみであること。

理想のまちなみって？

地域の特徴を生かすまちなみ

- ・城下町の武家地であったことを感じられること。
- ・岩槻遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かすこと。
- ・落ち着いた雰囲気で統一されていること。

回遊性の向上するまちなみ

- ・裏小路を通じて歴史や文化にふれあえること。
- ・安心して通行できること。
- ・四季折々の変化が楽しめること。

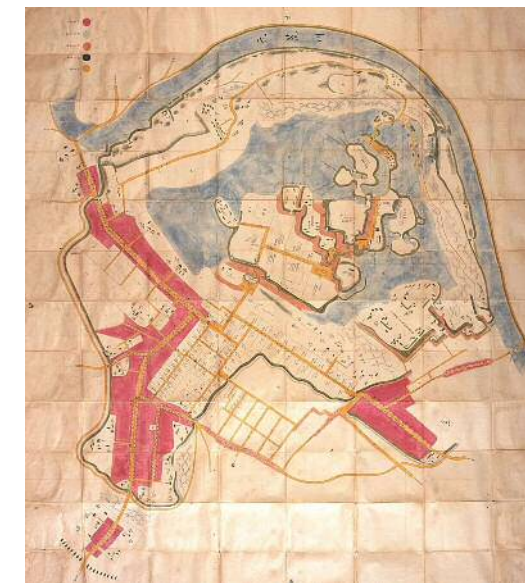


図 岩槻城并侍屋敷城下町迄総絵図

(仮称)裏小路まちなみルール(素案)の骨格

1 背景と目的

岩槻駅周辺は、室町時代以降に城下町として発展し、江戸時代を迎えると日光御成道の整備や城下町の再編が行われ、大手門外の一帯を武家地、街道沿いには町屋を配置し、日光御成道の宿場町として栄えた歴史のあるまちです。現在でも江戸時代に整備された日光御成道と、武家屋敷が建ち並ぶ“小路”と名のつく武家地のみちは、当時の位置のまま残されています。

また、人形のまちとしても全国的に知られており、人形と関わりの深い催しも多く開催されています。さらに岩槻城址など、様々な歴史的や文化的な地域資源を有しています。裏小路は「岩槻藩遷喬館」と「時の鐘」を繋ぐまちとなっており、かつて城下町の武家地であったことを感じられる資源が所々に残されています。

一方で風情あるまちなみが薄れてきていることや通勤時を中心に車の通行量が多いことから、地域資源を生かしたまちなみと、安心して歩くことのできる歩行空間の確保が求められています。

このような状況から、裏小路は、今も残る歴史的や文化的な地域資源を繋ぐ岩槻歴史街道の一つとして、回遊性を向上させるとともに、にぎわいを創出させる裏小路らしいまちなみの実現を目指すため、裏小路におけるまちなみの指針となる「(仮称)裏小路まちなみルール」を作成します。



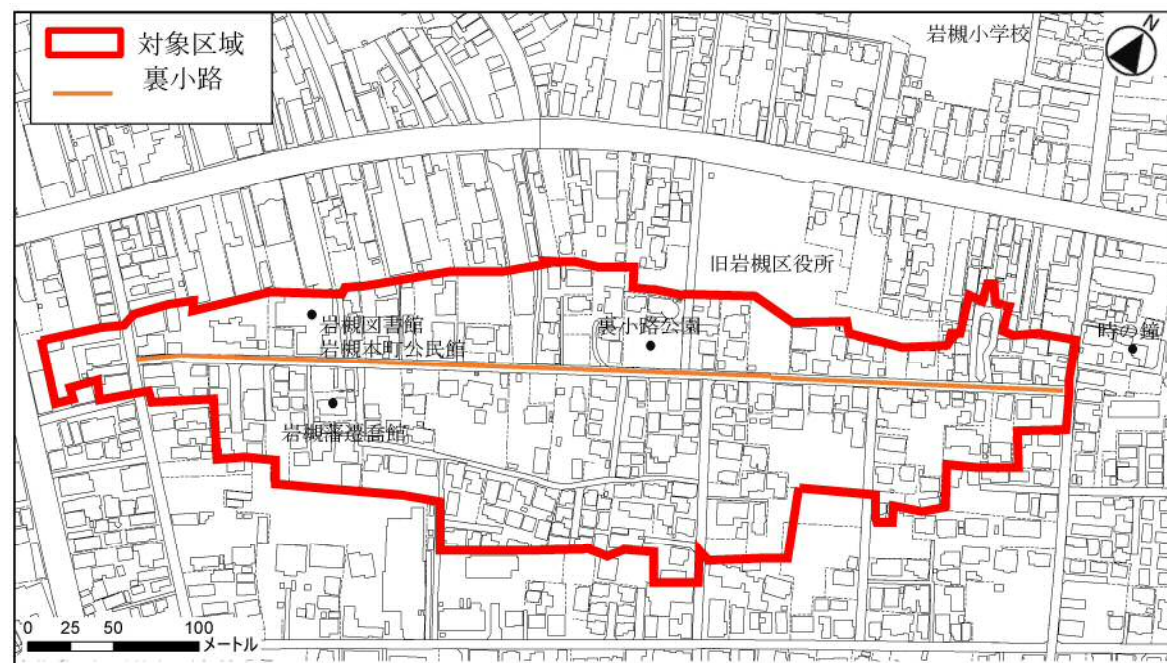
時の鐘



岩槻藩遷喬館

2 対象区域

本ルールの適用となる対象区域は、裏小路まちなみづくり協議会の活動区域とします。



3 目指すまちなみ

(1) 目指すまちなみ

目指すまちなみとは、将来の裏小路のまちなみの姿を示すものであり、その実現に向け住民等が主体となって、“まちなみづくり”を取り組んでいきます。

～目指すまちなみ～
歴史・文化にふれあい、四季を楽しめるまちなみ

(2) 基本方針

基本方針とは“目指すまちなみ”を実現するため、住民等が主体となって行う“まちなみづくり”の取組の方向性を示すものです。

○基本方針

歴史的や文化的な雰囲気を感じられる岩槻藩遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かし、裏小路らしいまちなみを形成していきます。

4 まちなみを構成する要素

まちなみを構成する主な要素としては、「建築物」、「工作物・緑化」、「屋外広告物」に、これらの要素に関わる「全体の色」を加えた、4つの要素であると考えられます。

そこで、裏小路のまちなみをより良くしていくためには、これら4つの要素について、ある一定の基準を設けることが望ましいため、具体的なルールを示すものとします。



5 まちなみづくりに向けたルール

まちなみを構成する「建築物」、「工作物・緑化」、「屋外広告物」、「全体の色」について、それぞれのルールを定めています。

6 まちなみルールの運用

まちなみルールを運用していくに当たって、組織体制などを定めています。